

令和6年度 1学期
明浜中学校
学校評価

・学校評価は、子どもたちがよりよい教育を受けることができるよう、学校の教育活動等の成果を検証し、学校運営の改善と発展を目指すための取組です。
 ・学校評価を行うことによって、保護者や地域住民の方から信頼される学校づくりを進めます。
 ・「計画 → 実行 → 評価 → 改善」のサイクルを確立し、継続的に発展できる体制を整えます。アンケートは、7月、12月の年2回実施します。
 ・保護者・地域に対して積極的に結果を公開し、説明責任を果たし、改善への手がかりを得ます。

1学期の学校評価アンケートの集計結果です。御協力ありがとうございました。
 保護者アンケートの回収率は、89%でした。

番号	対象	生徒、保護者、教員との比較ができるよう、アンケートでは似たような質問を設定しています。 上段：教員向け 中段：生徒向け 下段：保護者向け	その 思う 程度					今年度 1学期 達成率	昨年度 1学期 達成率	達成率とは、全員が「A」(=4)の「そう思う」という回答をした場合に、100%になります。評価の目安としてご活用いただければ幸いです。 達成率=(A×4+B×3+C×2+D)÷(A+B+C+D)×4×100
			A	B	C	D	?			
1	教	先生方は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとする生徒を育てている。	2	7	0	0		80.6	82.1	生徒の評価が大変良好です。生徒の地域行事への積極的な参加が図られていると考えます。昨年5月よりコロナが5類に移行し、地域行事、学校行事とも、再開されてきています。今後も学校行事や体験活動を通して地域と関わり、つながりを大切にしたいと考えています。
	生	学校は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとしている。	24	14	0	0	3	90.8	89.7	
	保	学校は、地域のよさに気づき、地域の伝統を大切にしようとする取り組みをしている。	13	13	1	0	6	86.1	87.5	
2	教	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	3	6	0	0		83.3	85.7	昨年度よりも、生徒の評価が高くなっています。多くの生徒が充実した学校生活を送っているようです。しかし、保護者と教員の評価が少し下がっているのが気になります。今後も全校生徒が「明日も来なくなる学校」を目指して全教職員で努力したいと思います。
	生	私は、学校へ行くのが楽しみである。	15	18	5	2	1	78.8	76.7	
	保	生徒は、学校へ行くのを楽しみにしている。	10	19	3	1	0	78.8	79.2	
3	教	生徒は、自分から進んで学習に取り組もうとしている。	0	5	3	1		61.1	71.4	生徒の評価が昨年よりも高くなっています。分りやすい生徒自らが学ぶという意欲につながる授業が展開できているものと考えます。保護者と教師の評価が少し下がっており、今後さらに生徒の学習意欲を喚起するような授業づくり、学習意欲を高める方策や学びに向かう姿勢について指導に力を注いでいきたいと思います。
	生	私は、自分から進んで学習に取り組んでいる。	15	19	3	1	3	81.6	73.3	
	保	生徒は、自分から進んで学習に取り組もうとしている。	9	15	4	3	2	74.2	75.0	
4	教	先生方は、教え方を工夫し、分りやすい授業を展開している。	3	6	0	0		83.3	82.1	全体的に高い評価が得られています。少人数の良さを生かした授業や、ICT機器を有効活用した授業などが評価につながっているものと考えます。今後も、生徒主体の分りやすい授業の構築に努め、学力向上、学習意欲向上につなげていきます。
	生	先生は、教え方を工夫し、分りやすい授業を展開している。	26	11	1	0	3	91.4	88.8	
	保	先生は、教え方を工夫し、分りやすい授業を展開している。	14	13	1	1	4	84.5	84.5	
5	教	生徒は、部活動に満足している。	1	7	1	0		75.0	82.1	生徒は、高評価となっており、満足度の高さに部活動への意欲が伺えます。一方で保護者と教員の数値が下がっており、部活動の選択肢が少ないことも一因と考えられます。今年度も少人数のたゆまぬ活動にも影響が表れています。意欲を失うことなく目標を持って取り組めるよう、部活動の運営に努めてまいります。
	生	私は、部活動に満足している。	26	10	1	3	1	86.9	84.2	
	保	生徒は、部活動に満足している。	10	12	5	3	3	74.2	76.1	
6	教	先生方は、生徒の話をよく聞いている。	6	3	0	0		91.7	85.7	生徒からの評価は高く、日頃の学校生活でしっかりと生徒の声を耳を傾け、寄り添う姿勢が評価されていると考えます。保護者の数値が下がってはいますが、80%に近い数値であり、親子のコミュニケーションはしっかりと取れていることが伺えます。今後学校からの情報発信にさらに力を入れ、ご理解を得られるよう努めてまいります。
	生	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	29	12	0	0	0	92.7	91.4	
	保	先生は、生徒の話をよく聞いてくれる。	9	15	2	1	6	79.6	84.8	
7	教	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	4	5	0	0		86.1	82.1	いずれも昨年を上回り、大変高い評価となっています。三者の間において、いじめや差別は許さないということが連携、共有ができていくように感じます。一方、「分からない」という回答も数件あり、今後も継続して、いじめ・差別が起こらないよう指導・連携するとともに、学校からの情報発信にも力を入れていきたいと思います。
	生	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	25	12	1	0	3	90.8	85.2	
	保	生徒は、いじめや差別をしない、許さないという態度で生活できている。	15	16	0	0	2	87.1	84.1	
8	教	学校は、いじめや生徒間のトラブルに適切に対応している。	7	2	0	0		94.4	92.9	いずれも非常に高い評価となっています。学校での早期発見・早期解決を目指して、些細な事にも目を配り、生徒の話を聞くなど、トラブルに迅速に対応するよう心がけてきた成果が表れています。一方、「分からない」の回答もみられます。保護者の方で何か心配なことやお気づきの点などありましたら、ぜひとも学校までご連絡をお願いいたします。
	生	先生は、いじめや生徒間のトラブルにきちんと対応している。	33	5	0	0	3	96.7	94.6	
	保	学校は、いじめや生徒間のトラブルに適切に対応している。	9	16	0	0	8	84.0	83.3	
9	教	学校は、学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている。	8	1	0	0		97.2	96.4	生徒、保護者ともに大変高い評価をいただいています。生徒の活躍の様子をホームページやすぐる、学校だより、学級通信、かわらばん等で分りやすく発信してきた成果が表れていると考えます。今後も学校での生徒の活動の様子や学校行事等での活躍の様子など、細かく情報提供してまいります。
	生	学校は、学校の様子や教育方針をわかりやすく伝えている。	32	6	0	1	2	94.2	92.6	
	保	学校は、学校の様子や教育方針を適切に伝えている。	18	14	1	0	0	87.9	91.7	
10	教	先生方は、いけないことはいけないときちんと指導している。	5	3	1	0		86.1	89.3	教員の生徒への対応について、生徒、保護者より昨年度よりも高い評価をいただいております。教員と生徒との人間関係が構築されていることによるものでもあり、状況に応じた指導や善悪の正しい判断についても、生徒が理解してくれているものと考えます。今後も生徒・保護者から信頼される教師集団を目指してまいります。
	生	先生は、いけないことはいけないときちんと指導している。	35	5	0	0	1	96.9	90.6	
	保	先生は、いけないことはいけないときちんと指導している。	17	9	0	0	7	91.3	85.7	
11	教	生徒は、よくあいさつができる。	2	7	0	0		80.6	78.6	生徒、教員の評価は昨年度よりも高くなっています。生徒と教師が一体となって主体的に取り組み、挨拶のあふれる学校を目指してきた成果が表れてきたように思います。保護者の評価が昨年度より低くなっておりことから、今後も挨拶運動にさらに力を入れ、地域でも進んで挨拶のできる生徒の育成を目指してまいります。
	生	生徒は、よくあいさつができる。	30	11	0	0	0	93.3	80.6	
	保	生徒は、よくあいさつができる。	18	12	1	1	1	86.7	90.2	
12	教	先生方は、生徒のよいところを認めている。	7	2	0	0		94.4	96.4	昨年度と比較し、生徒の評価が大きく向上しています。職員は生徒への声掛けが生徒に受け入れられ、評価につながったものと思われたいです。今後も日々の生徒への声掛けや頑張りを認める姿勢を教師が伝え、一人一人の個性を大切にしたいと考えています。
	生	私は、先生や友達から自分のよいところを認められている。	18	18	0	0	5	87.5	79.5	
	保	先生は、生徒のよいところを認めている。	12	14	0	1	6	84.3	90.2	

今回の結果は、全体として大変良好なものとなりました。日頃からの保護者の皆様の御協力により生徒の学校活動が円滑に行われているためであると考えます。一方、課題となる面も明確となりました。今後も現状に妥協することなく、保護者、地域の方々と連携を図りながら、教職員一同、生徒のために尽力してまいります。